

第24回全道高齢者ソフトボール大会

期日 平成24年6月23日(土)～24日(日)

会場 農試公園野球場 A・B (札幌市西区八軒5条6丁目95-21)

第1試合: 10:00

第2試合: 11:30

第3試合: 13:00

第4試合: 14:30

	23日(土)	24日(日)	
1 遠 軽 ド ン マ イ ズ (遠 紋)	7		
2 札 幌 ハ イ シ ニ ア (札 幌)	2	16	0
3 芽 室 ベ ア ー ズ (十 勝)	5		
4 シ ニ ア 石 狩 (石 狩)	4	1	0
5 札 幌 西 ソ フ ト ボ ー ル 倶 楽 部 (札 幌)	9	14	
6 帯 広 ク ラ ブ シ ニ ア (十 勝)	14		
7 札 幌 シ ニ ア (札 幌)	10		
8 シ ニ ア 余 市 (後 志)	3	5	1
9 ミ ド ル ク レ ー ジ ー 八 雲 (道 南)	6		4
10 札 幌 M A X (札 幌)	5	10	
11 音 更 ク ラ ブ (十 勝)	10	1	13
12 石 狩 ビ ッ ク サ ー モ ン (石 狩)	10		

優勝
三回目
石狩ビックサーモン

【記録4号】

第24回全道高齢者ソフトボール大会

興誠公園野球場 A・B 平成23年6月23日(土)～24日(日)

1 回戦 [試合開始] 10時04分 [試合終了] 11時16分 [中断時間] [試合時間] 1時間12分 No.1
審判員 球審 吉野友昭 一塁 岸田良夫 二塁 六本木篤 三塁 松岡ぬい子
記録員 鈴木芽以 放送 外山由香

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
芽室ベアーズ [*] (十勝)	0	5	0	0	0					時間切れ					5
札幌ハイシニア (札幌)	0	0	2	0	0										2

(バッテリー) 先攻 (投) ○秋谷正茂 (捕) 高橋正之
[勝:○, 負:●] 後攻 (投) ●上岡吉弘、杉山 繁 (捕) 布庭健之
(本塁打) ー (三塁打) ー
先攻 (二塁打) 永瀬健次
(長打) (本塁打) ー (三塁打) ー
後攻 (二塁打) ー

芽室ベアーズは、2回表一死後7番「工藤」より打線が繋がり1番「永瀬」のレフト線2点二塁打を含み5連続得点を挙げる。この得点を背に「秋谷」投手が被安打6本2失点に抑え初戦を突破した。一方札幌ハイシニアは3回裏8番「村井」9番「久本」連打出塁し2番「中川」右前満時打で応戦したが初陣は敗れなかった。

1 回戦 [試合開始] 10時10分 [試合終了] 11時20分 [中断時間] [試合時間] 1時間10分 No.2
審判員 球審 神戸芳明 一塁 細井幸子 二塁 梅内 仁 三塁 千葉美穂
記録員 鈴木世津子 放送 上島仁美

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
札幌西ソフトボール倶楽部 (札幌)	0	1	4	2	2					時間切れ					9
シニア石狩 (石狩)	0	2	2	0	0										4

(バッテリー) 先攻 (投) ○千葉美穂 (捕) 阿部俊彦
[勝:○, 負:●] 後攻 (投) ●杉村知雄 (捕) 浅木良一
(本塁打) ー (三塁打) 石川道一、森下秋夫
先攻 (二塁打) 清光正行、石川道一
(長打) (本塁打) ー (三塁打) ー
後攻 (二塁打) ー

札幌西ソフトボール倶楽部は、1番「石川」が4打数4安打2得点2打点と先陣の大役を果たして大量9点を奪い、地元チームに勝利をもたらした。これに対しシニア石狩は、四球出塁走者4人が得点となった。

1 回戦 [試合開始] 11時38分 [試合終了] 12時58分 [中断時間] [試合時間] 1時間20分 No.3
審判員 球審 松田 彰 一塁 泉谷小百合 二塁 島山 清 三塁 吉野友昭
記録員 栗原康巳 放送 金島衣枝枝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
ミドルクレージー八雲 (道南)	2	1	3	0						時間切れ					6
シニア余市 (後志)	1	0	1	1											3

(バッテリー) 先攻 (投) ○小泉義徳 (捕) 岡嶋 誠
[勝:○, 負:●] 後攻 (投) ●滝吉嘉公、栗原盛利 (捕) 栗原盛利、岡田敏郎
(本塁打) ー (三塁打) ー
先攻 (二塁打) ー
(長打) (本塁打) ー (三塁打) ー
後攻 (二塁打) 木浪雄治

ミドルクレージー八雲は、1回表1番「平野」3番「白岩」共に四球出塁し、空塁と4番「林」の単打による効率良く先制点を挙げる。3回表は併殺を喫したが二死後5番「千葉」から連打・四球3個として3連続得点を加えし豪勢とした。シニア余市は、恒例安打が難関となり得点を積み重ねることが出来なかった。

1 回戦 [試合開始] 11時45分 [試合終了] 13時32分 [中断時間] [試合時間] 1時間47分 No.4
審判員 球審 宮藤利津子 一塁 高橋 茂 二塁 合羽井一則 三塁 丹下夏彦
記録員 上島仁美 放送 中村美恵子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
音更クラブ (十勝)	0	0	0	0	1	2	7			7回タイブレーカー					10
札幌MAX (札幌)	0	0	0	3	0	0	2								5

(バッテリー) 先攻 (投) ○藤田敏徳 (捕) 井上智憲
[勝:○, 負:●] 後攻 (投) 大塚欣也、●工藤 修 (捕) 宮崎昭治
(本塁打) ー (三塁打) ー
先攻 (二塁打) 斉藤 猛②、内藤 洋
(長打) (本塁打) ー (三塁打) ー
後攻 (二塁打) 長岡憲司、出雲崎治夫

音更クラブは、2点ビハインドの6回表この回から登板した「工藤」投手から安打2本で2点取り同点とし、7回タイブレーカーに持ち込み「斉藤」「内藤」の二塁打で勢いづき一挙7点が加わり逆転の勝利を収めた。札幌MAXは、継投策につまづき初戦初戦勝利は無念に終わった。

【記録4号】

第24回全道高齢者ソフトボール大会

農林公園野球場 A・B 平成23年6月23日(土)～24日(日)

準々決勝 [試合開始] 13時51分 [試合終了] 15時01分 [中断時間] [試合時間] 1時間10分 No5

審判員 球審 千葉美穂 一塁 神戸芳明 二塁 細井幸子 三塁 梅内 仁
記録員 鈴木世雄子 放送 中村美恵子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
遠軽ドンマイズ [*] (道北)	2	3	0	2						時間切れ					7
芽室ベアーズ [*] (十勝)	1	9	5	1x											16

(バッテリー) 先攻 (投) ●鈴木義重 (捕) 小森洋一、佐藤昌之

[勝・○、負・●] 後攻 (投) ○坂谷正茂 (捕) 高橋正之

先攻 (本塁打) ー (三塁打) ー

(長打) (二塁打) 黒川勇治、佐藤昌之、岡 尚 (三塁打) ー

後攻 (本塁打) ー (三塁打) ー

後攻 (二塁打) 中島 崇

芽室ベアーズは、4番「中島」が4打数3安打5打点と活躍、加えて打線に砲が無く大量点を挙げて、昨年の初戦敗退の雪辱を晴らし4強に名を連ねた。遠軽ドンマイズは、二塁打3本含む10安打を放ち、安打数で3本及ばなかったが、相手の勢いについていけなかった。

準々決勝 [試合開始] 13時21分 [試合終了] 14時33分 [中断時間] [試合時間] 1時間12分 No6

審判員 球審 岸田良夫 一塁 岩佐タカ 二塁 松岡ぬい子 三塁 六本木真

記録員 外山由香 放送 金島衣公枝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
札幌西ソフトボール倶楽部 (札幌)	1	0	0	0	0					時間切れ					1
帯広クラブシニア (十勝)	3	9	1	1	x										14

(バッテリー) 先攻 (投) ●久原悦朗、篠葉末雄 (捕) 阿部俊彦

[勝・○、負・●] 後攻 (投) ○吉田道乃 (捕) 井上憲二

先攻 (本塁打) ー (三塁打) ー

(長打) (二塁打) 森下秋夫 (三塁打) 吉田和夫

後攻 (本塁打) ー (三塁打) 吉田和夫

後攻 (二塁打) 鈴木 昇

帯広クラブシニアは、1回裏四球2個・5番「三輪」左前打出で3点取り逆転する。2回裏一死満塁から連続8得点挙げ前半で12対1と差を広げ準決勝に進んだ。札幌西ソフトボール倶楽部は、1番「石川」安打出し4番「金森」タイムリーで先遣一矢を報いる。

準々決勝 [試合開始] 15時20分 [試合終了] 16時40分 [中断時間] [試合時間] 1時間20分 No7

審判員 球審 佐藤和哉 一塁 寶藤利洋子 二塁 合羽井一則 三塁 高橋 茂

記録員 正部家博子 放送 上島仁美

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
ミドルクレイジー八雲 (道南)	2	3	0	0	0					時間切れ					5
札幌シニア (札幌)	0	1	3	1	5										10

(バッテリー) 先攻 (投) ●堀岡良治 (捕) 岡嶋 誠

[勝・○、負・●] 後攻 (投) ○成田 美 (捕) 金子久雄

先攻 (本塁打) ー (三塁打) ー

(長打) (二塁打) ー (三塁打) 佐藤敏孝

後攻 (本塁打) ー (三塁打) 佐藤敏孝②、小山田俊之②

札幌シニアは、2回裏5失点の劣勢を3番「佐藤」4番「小山田」5番「成田」の打撃で2・3・4回で取戻し同点に追付いた。5回裏は無死「佐藤」「小山田」連続二塁打から5点挙げ、逆転に向けた足がかりとなる準決勝に進んだ。ミドルクレイジー八雲は、序盤のパワーが失速しグラウンドを去った。

準々決勝 [試合開始] 14時59分 [試合終了] 16時11分 [中断時間] [試合時間] 1時間12分 No8

審判員 球審 鈴木義昭 一塁 松田 彬 二塁 泉谷小百合 三塁 岩佐タカ

記録員 鈴木芽以 放送 金島衣公枝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
音更クラブ (十勝)	1	0	0	0	0					時間切れ					1
石狩ビックサーモン (石狩)	0	6	1	3	0										10

(バッテリー) 先攻 (投) ●尾崎省三、藤田敏則 (捕) 井上哲憲

[勝・○、負・●] 後攻 (投) ○田代和行 (捕) 北原益二郎

先攻 (本塁打) ー (三塁打) ー

(長打) (二塁打) ー (三塁打) 基 和孝

後攻 (本塁打) ー (三塁打) 基 和孝

後攻 (二塁打) 北原益二郎②、二辻谷麻治、菊地利昭

石狩ビックサーモンは、2回裏一死後4連続四球を続けた先発「尾崎」から「藤田」に投手が変わり、1番「北原」3番「二辻谷」のタイムリーで6点を奪い、「田代」投手が毎回三者に打取る好投でベスト4に進んだ。音更クラブは、1回裏1番「尾崎」失策出塁して3番「斉藤」ライト前タイムリーで先制点とした。

【記録4号】

第24回全道高齢者ソフトボール大会

興誠公園野球場 A・B 平成23年6月23日(土)～24日(日)

準決勝 【試合開始】 9時18分 【試合終了】 10時28分 【中断時間】 【試合時間】 1時間10分 No9
 審判員 球審 鈴木義昭 一塁 千葉美穂 二塁 板東一秋 三塁 吉野友昭
 記録員 栗原康己 放送 香川恭徳

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
芽室ベアーズ ⁺ (十勝)	0	0	0	0	0					時間切れ					0
帯広クラブシニア (十勝)	0	0	2	3	9x										14

(バッテリー) 先攻 (投) ●渋谷正茂

(捕) 高橋正之

[勝:○、負:●] 後攻 (投) ○吉田達之

(捕) 井上憲二

(本塁打) ---

(三塁打) ---

先攻 (二塁打) 前塚誠治

(長打) (本塁打) ---

(三塁打) ---

後攻 (二塁打) ---

(二塁打) 中川廣司②、木本三郎、小川博史、山川勇男②

帯広クラブシニアと芽室ベアーズは十勝同士の準決勝となり、試合開始前監督同士が肩を抱き合い和気藹々のプレーボールとなった。ゲームは3回裏から帯広クラブシニアの打線が目覚め安打15本で14得点を挙げ楽勝した。芽室ベアーズは、出塁した走者6人で得点5を記録、好機を作ることが出来なかった。

準決勝 【試合開始】 10時55分 【試合終了】 12時09分 【中断時間】 【試合時間】 1時間14分 No10
 審判員 球審 長 健治 一塁 神戸芳明 二塁 木村 毅 三塁 梅内 仁
 記録員 外山由香 放送 正部家清子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
石狩ビックサーモン (石狩)	0	4	2	6	0	1				時間切れ					13
札幌シニア (札幌)	0	0	0	0	0	1									1

(バッテリー) 先攻 (投) ○田代和行

(捕) 北原益二郎

[勝:○、負:●] 後攻 (投) ●青木貞夫

(捕) 金子久雄

(本塁打) ---

(三塁打) 高橋和夫

先攻 (二塁打) 高橋和夫②、北原益二郎

(長打) (本塁打) ---

(三塁打) ---

後攻 (二塁打) 川真田勇貴男

もう一方の準決勝は地元石狩対札幌となり、石狩ビックサーモンが2回表4番DP「菊地」内野安打出塁し5番「高橋」の左前二塁打で1点、続く下位打線の2本と犠打で先制の4点を挙げる。この後ゲームに活気が盛り9点加算し決勝に挑んだ。札幌シニアは、「田代」投手の前に、内野打球16本で完敗した。

決 勝 【試合開始】 12時55分 【試合終了】 14時21分 【中断時間】 【試合時間】 1時間25分 No11
 審判員 球審 渡辺武治 一塁 鈴木義昭 二塁 梅内 仁 三塁 千葉美穂
 記録員 香川恭徳 放送 正部家清子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
帯広クラブシニア (十勝)	0	0	0	0	0	0	0								0
石狩ビックサーモン (石狩)	0	0	1	1	0	2	x								4

(バッテリー) 先攻 (投) ●吉田達之

(捕) 井上憲二

[勝:○、負:●] 後攻 (投) ○田代和行

(捕) 北原益二郎

(本塁打) ---

(三塁打) ---

先攻 (二塁打) ---

(長打) (本塁打) ---

(三塁打) ---

後攻 (二塁打) 高橋和夫

帯広クラブシニア「吉田」対石狩ビックサーモン「田代」両投手による投手戦を期待して2回を終えた3回裏、先頭打者8番「北端」四球出塁し送りバント・犠打で先制点とし均衡が破れた。4・6回も先頭打者が得点となり、石狩ビックサーモンは6年振り3回目の優勝を手にした。帯広クラブシニアは、3安打の賞打に泣き顔を露す事が出来ず、昨年に続き2位に甘んじた。